

備前市事務事業評価表

事務事業名	市営バス運行事業	コード	01-01-12-02
		担当課・係	企画課 公共交通対策係
		担当者	難波 巧
事業実施期間	昭和61年～	電話	0869-64-1871
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	公共交通	

事業について	
目的 (何のために)	民間路線バス運行のない吉永の過疎地域での学生、高齢者等の交通手段を持たない人が、通学・通院・買物等のために移動する手段を確保する。
対象 (誰・何を対象に)	交通弱者（学生、高齢者、マイカーを持たない人）、沿線地域住民
内容	吉永の和意谷地区と三国地区を各1路線運行し、運行業務を日生運輸㈱に委託している。スクール利用、高齢者・障害者等の利用は、無料となっている。事業のうちスクール分は教育委員会に負担している。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
系統数	2 系統	2 系統	
運行回数(年間)	5,260 回	5,260 回	
運行委託料	5,212,200 円	5,099,850 円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,213	国庫補助金等	5,100	直接事業費	4,440	国庫補助金等	4,440
	人件費	4,705	受益者負担	4,440	人件費	4,440	受益者負担	4,440
	合計	9,918	一般財源等	9,918	合計	0	一般財源等	0

結果指標	必要人員	0.45 人	0.45 人	
	結果指標名	系統数	系統数	
	結果指標量	2	2	
	単位	系統	系統	
結果指標	対前年比	—	100.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	9,918,000 円	9,540,000 円	
	単位当たりコスト	4,959,000 円	4,770,000 円	
	結果指標名	運行回数	運行回数	
結果指標	結果指標量	5,260	5,260	
	単位	回	回	
	対前年比	—	100.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	9,918,000 円	9,540,000 円	
結果指標	単位当たりコスト	1,886 円	1,814 円	

事業の成果				
どのような成果を得ようとしているか	当路線を移動手段として利用した人数・回数（延べ人数）			
成果指標名	年間利用者数	式又は説明	実態調査及び売上等による推計値 (スクール利用は除く)	
成果指標量	17年度	2,800	18年度	2,400
	対前年比	—	85.71%	0.00%
	到達目標値	2,400	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	高齢者を中心とした対象者は減少傾向にあり利用者も減少しているが、交通弱者(児童・生徒、高齢者、マイカーを持たない人など)にとっては、バスは欠かせない交通手段であり、民間路線のない過疎地において公共交通としてバスを運行維持することは妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	利用者が少なく、かつ高齢者等無料の利用者の割合が多いため、コストの効率化が難しい。 運行経費の削減についての検討や、現状のバスが適切かどうか、代替手段はないかなどの検討が必要である。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> D 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	交通弱者にとっての移動手段として有効であるが、児童・生徒、高齢者、障害者等は無料となっており、今後他地域との調整、受益者負担金の徴収といったことも検討を要する。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標量 2 成果指標量 2,400	結果指標量 5,260	

総合評価	この路線は、交通弱者にとって欠かせない交通手段であり、対象者・利用者が少なくとも運行維持は必要である。利用料(運賃)については、無料対象者が多く、また他地域との格差をなくすよう改善が必要である。また、スクール以外の運行ではバスの小型化が可能であり、経費削減のためにスクール利用の切り離し方法について検討を要す。	評価区分 <A~E> C
------	---	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--------------

平成20年度以降の改善事項	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	乗合タクシーの導入等体系の見直しを検討する。	平成20年度	利便性を低下させることなく、事業経費の削減を行う。